

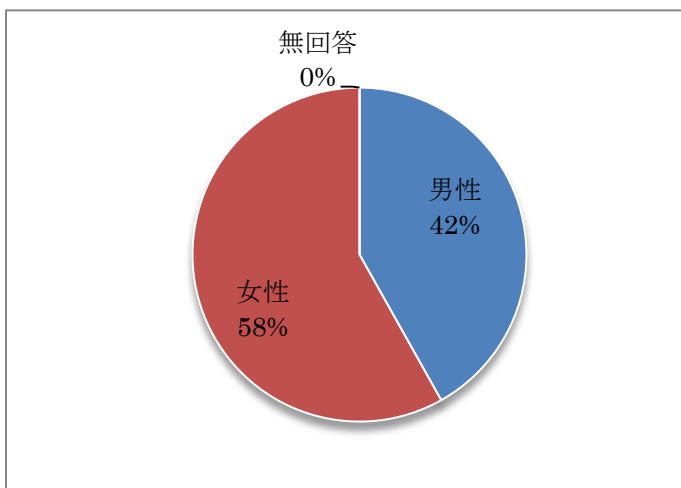
JAXA タウンミーティング in 沖縄科学技術大学院大学 開催報告

平成 28 年 11 月 27 日、JAXA タウンミーティング in 沖縄科学技術大学院大学 “宇宙の未来を語る！”を開催しました。今回は、JAXA が取り組んでいる人工衛星の様々な利用について話題を提供し、会場の参加者と活発な意見交換がなされました。

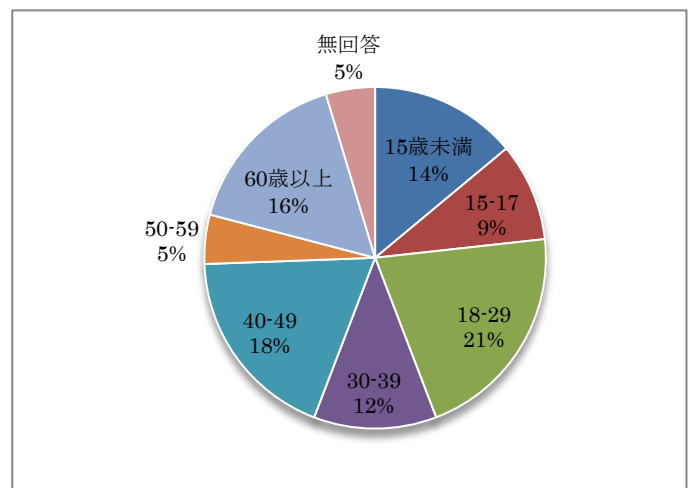
- 開催日時 平成 28 年 11 月 27 日（日） 10:30~12:00
- 会場 沖縄科学技術大学院大学 セミナールーム
- 参加者数 70 人
- 登壇者 JAXA 第一宇宙技術部門 事業推進部 計画マネージャ 戸田 謙一
話題：「社会に役立つ人工衛星」
- 進行コーディネーター
JAXA 広報部長 庄司 義和

アンケート回答者の属性（有効回答数：43）

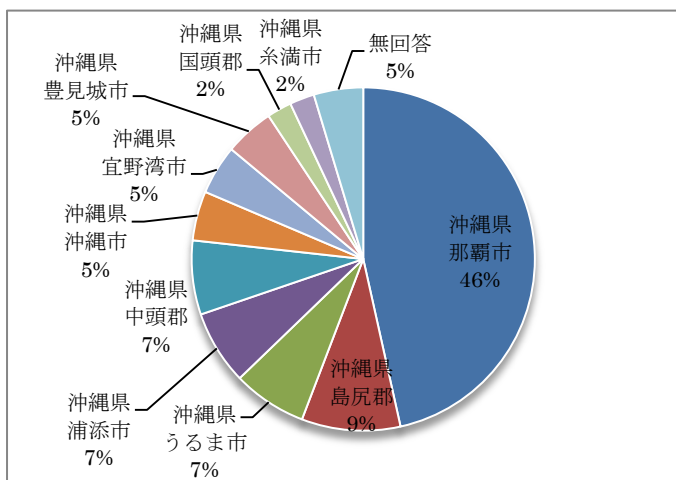
1. 性別



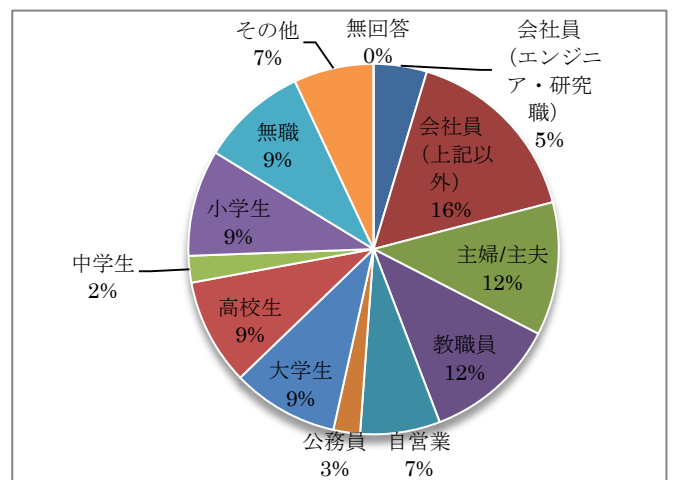
2. 年齢



3. 居住地



4. 職業



いただいた主なご意見（意見投稿、アンケート記入分も含む）

■今回のタウンミーティングの話題に関連して

◇「社会に役立つ人工衛星」

- ・ 気象観測をする衛星についてもっと知りたいなあと思いました。
- ・ 環境問題の解明がとても社会で役にたつと思いました。
- ・ もう少し予算をつけて、たくさんの人工衛星や宇宙開発をしてもらいたいと思う。
- ・ 「自然災害予測、回避できる」人工衛星であるべき。
- ・ GPS、天気予報などですでに私たちの生活の中で人工衛星は役立っているのだから、それ以上のこと、という環境問題。もっと地球温暖化などが身近にわかると嬉しいです。
- ・ 日本だけでなく世界でも役に立つ研究開発や情報共有などを進めてください。ただし、他のコメントにあったように戦争のような悪い方向ではない、平和につながる開発、活動を行ってほしい。
- ・ 地震の予測などができると良い。
- ・ いろいろな場所をきめ細かく把握する。
- ・ 地図の精度を上げて欲しい。
- ・ 気象や様々な自然災害を正確に予測してほしいです。
- ・ 防災という点で、予測に関するデータの測定に期待しています。
- ・ 環境問題の解明や災害時に人命を救うための技術開発。
- ・ 地球の環境を取り戻せるチームを作ってください。宇宙から見てこれ以上開発を進めないほうが良いというラインが引けると助かります。綺麗な水が増えると良いですね。
- ・ 生活の身近な場所で使われているのをもっと周知してもいいのでは？と思います。
- ・ 気象衛星がカラーで見ることができるようになったことで防災や異常気象等の観測がなおいっそう加速できると良い。
- ・ 「ひまわり」や「だいち」で人類の役に立つ観測が行われていることを知れた。これからは地球の謎を解明できるようにがんばってください。
- ・ 地面の下まで観測できる人工衛星があると良い。
- ・ 戦争や軍事技術への補填に繋がらないように注意しながら、防災に役立つ技術開発を行ってほしい。

■タウンミーティング、その他について

- ・ ロケット発射場を沖縄県に作ることはしないのでしょうか。赤道に近いほどロケットの発射は遠心力の影響で効率的で有利だと思いますがどうでしょうか？
- ・ （ミュージアム）ショップをもっと豊富（というよりもオリジナル性）にして欲しいです。
- ・ スマホから意見が言えるシステムは良いなと思いました。こんなところでもテクノロジーを使用していてさすがと思いました。
- ・ 質問を web で受け付けてもらえたのはありがたかったです。中々手を上げられないので質問出来てよかったです。
- ・ 宇宙から見てごみ問題の解決にはやく糸口が見つかれば良いです。
- ・ タウンミーティングが沖縄でもっとあると良い。KUMA のような子供向けのイベントももう

少しあると子どもたちがサイエンスに触れる機会があつて良い。

- ・ 打上げパブリックビューイングを沖縄でも開催してほしい。
- ・ 今回のテーマは質問しにくかった。(思いつかなかった。)
- ・ 難しさを感じた。
- ・ 木星の研究の活動を応援していきます。

